

医療人材確保に係る県の取組みについて

医師確保

1 県全体の医師確保対策

(1) 地域枠制度と修学資金制度による県内医療機関勤務医師の確保・定着

- ・岐阜大学医学部地域枠の設定（定員：H20 当初 10 名、H27～現在 28 名）

- ・医学生修学資金貸付（第 1 種・第 2 種）

（R7. 4. 1 時点）延べ新規貸付人数 第 1 種：418 名、第 2 種：208 名

（うち離脱者数 第 1 種：10 名、第 2 種：34 名）

- ・医師育成・確保コンソーシアムによるキャリア形成支援、指導医派遣、各種研修等

(2) 県内外からの若手医師の獲得

- ・臨床研修病院合同説明会

（実績）R5：医学生 55 名、21 臨床研修病院が参加

R6：医学生 33 名、21 臨床研修病院が参加

R7：医学生 35 名、21 臨床研修病院が参加

- ・レジナビ Fair オンライン、レジナビフェア大阪（R5）、

マイナビ RESIDENT FESTIVAL 名古屋、レジナビフェア名古屋（R6）

（実績）R5：医学生 75 名、16 臨床研修施設（レジナビオンライン）、

医学生 27 名、5 臨床研修施設（レジナビ大阪） が参加

R6：医学生 79 名、17 臨床研修病院（マイナビ）、

医学生 56 名、15 臨床研修病院（レジナビ） が参加

R7：医学生 89 名、17 臨床研修病院（マイナビ） が参加

- ・専攻医等確保対策事業

県内の専門研修プログラムを PR するための合同説明会開催、ガイドブック作成等

（実績）R5：医師 73 名、13 専門研修基幹施設が説明会参加

R6：医師 61 名、13 専門研修基幹施設が説明会参加

R7：医師 39 名、13 専門研修基幹施設が説明会参加

(3) 将来県内勤務医師となる人材の養成

- ・自治医科大学における医師養成、義務年限内派遣

（R7. 10. 1 時点）義務年限内医師数：24 名（結婚協定による県外医師を含む）

うち、へき地等派遣医師数：15 名

※義務年限を修了した医師 82 名のうち 54 名が県内医療機関で勤務

- ・へき地医療従事者マインド養成事業（へき地医療研修会）

県内の主に医師志望の高校生等を対象とするへき地医療現場の体験研修（郡上）や自治医科大学大学生に対するへき地医療の現状や働き甲斐についての講義を実施

（実績）医療現場の体験研修（郡上）

R5：参加者延べ 58 名、R6：参加者延べ 49 名、R7：参加者 62 名

・ **医学生セミナー開催事業**

県内外の医学生を対象に地域の医療現場の体験研修（揖斐）

（実績）R5：8名参加、R6：5名参加

・ **地域医療を支える人づくり事業**

県内の中高生を対象に少数診療科（4科）の医療現場の体験研修（県内各病院）

（実績）R5：県内9医療機関で59名の学生が参加

R6：県内13医療機関で61名の学生が参加

（4）県内勤務医師の確保

・ **地域医療確保事業費補助金**

市町村が行う医師確保事業（修学資金、寄附講座開設、医師住宅借上）を支援

（実績）R5：93,349千円（16市町村1組合）

R6：105,227千円（16市町村1組合）

【R7 予算：125,604千円】

2 地域間偏在対策

・ **岐大地域枠、医学生修学資金貸付（1種・2種）**

（H30～「岐阜圏域以外」勤務義務化、「地域医療コース」開始）

[地域医療コース入学者の市町村別内訳]

- ・ R1入学（R7から初期研修）美濃市、恵那市、飛騨市、高山市
- ・ R2入学（R8から初期研修）郡上市、中津川市
- ・ R3入学（R9から初期研修）揖斐川町、中津川市3、恵那市、高山市3、飛騨市、下呂市
- ・ R4入学（R10から初期研修）郡上市2、美濃加茂市、中津川市、恵那市、高山市、飛騨市、下呂市
- ・ R5入学（R11から初期研修）飛騨市、高山市2、白川町、恵那市、中津川市2
- ・ R6入学（R12から初期研修）飛騨市、高山市2、瑞浪市2、中津川市
- ・ R7入学（R13から初期研修）郡上市、中津川市2、高山市2、飛騨市、下呂市

・ **医師派遣支援事業費補助金**

比較的医師の多い医療機関から医師確保が困難な地域の医療機関への医師派遣を対象として、派遣元医療機関の逸失利益を支援

（実績）R6：県総→高山日赤・小児科医1名（年度後半）

【R7 予算：7,500千円】

・ **中山間・へき地医療支援事業費補助金**

5圏域の中核病院等が、自病院勤務医師を圏域内の中山間・へき地医療機関等へ派遣する際の人件費等を支援

（実績）R5：14,276千円（4病院、延べ469日派遣）

R6：11,983千円（3病院、延べ337日派遣）

【R7 予算：25,007千円】

・ **へき地医療拠点病院運営費補助金**

へき地医療拠点病院の運営（へき地診療所への医師派遣、代診医派遣、巡回診療等）に必要な人件費等を支援

（実績）R5：25,822千円（11病院）

R6：25,239千円（11病院）

【R7 予算：25,228千円】

- ・へき地医師研修支援補助金、医師少数区域等勤務環境等整備支援事業費補助金
市町村立へき地医療機関勤務医師の学会参加費及び研修受講料等や医師少数区域で勤務継続する医師の研修受講料、旅費及び医学用図書購入費を支援

3 診療科間偏在対策

- ・特定診療科医師研修資金貸付（外科※、産婦、小児、麻酔、救急、総診）※R7～

専門医取得後、貸付期間と同期間県内で勤務した場合、返還を免除

- ・R5 実績 新規2名（産婦人科2名）、継続2名（産婦人科1名、小児科1名）
- ・R6 実績 新規2名（麻酔科1名、小児科1名）、継続1名（産婦人科）
- ・R7 実績 継続4名（産婦人科2名、小児科1名、麻酔科1名）

- ・産科医等育成・確保支援事業費補助金

産科医への分娩手当、新生児取扱手当を支給する医療機関等への支援

（実績）R5：22,067千円（12病院、15診療所、4助産所）

R6：20,114千円（11病院、14診療所、4助産所）【R7 予算：24,889千円】

- ・産科等医師不足診療科対策事業費（産婦、小児、麻酔、救急）

医学生・初期研修医を対象に医師不足診療科の魅力を伝えるセミナー開催等のPR

事業や学会出席費用等を支援 【R7 予算：6,000千円】

- ・三次周産期医療機関分娩体制整備臨時支援事業費補助金

三次周産期医療機関（高山日赤）の分娩体制維持のため、指導医の人件費を支援

【R7 予算：13,333千円】

4 医師の勤務環境の改善

- ・医療勤務環境改善体制整備事業費補助金

長時間労働医師がいる医療機関において労働時間短縮を進めるための体制整備に係る経費を支援

長時間労働を行う医師が所属する医療機関へ医師を派遣する医療機関に対して派遣に要する経費を支援（R7～）

（実績）R5：211千円（岐阜ハートセンター）

R6：42,015千円（岐阜大学医学部附属病院） 【R7 予算：91,726千円】

- ・医療勤務環境改善支援センターの運営

医療機関における医師等の勤務環境改善を支援する体制を構築し、個々のニーズに応じた支援を実施

（実績）R5：相談件数383件、セミナー・研修会を9回開催

R6：相談件数197件、セミナー・研修会を9回開催

看護師確保

- ・岐阜県看護学生修学資金貸付事業費

県内看護師養成所等に在学する者で、将来県内において看護職員の業務に従事する意思を有する者に対する修学資金の貸付け

(実績) R6 貸付者数：69名

R7 貸付者数：78名

・ **ナースセンター事業費**

岐阜市所在のナースセンターに加え、多治見支所、西濃・中濃・飛騨サテライトを運営し、各所で再就業相談無料職業紹介事業（ナースバンク）を実施

(実績) R5 就業者数：555人 R6 就業者数：454人

・ **看護職員再就業支援研修事業費**

未就業の潜在看護師等が安心して再就業できるよう、再就業に必要な知識・技能を習得する研修を実施

(実績) R5 研修受講者数：66人 R6 研修受講者数：58人 【R7 予算：1,910千円】

・ **看護職員等就業促進研修事業費**

就業を希望する看護師や新たに雇用された看護職員等を対象に、各医療機関、訪問看護ステーション等が行う研修を支援

(実績) R5 医療機関等：7施設、訪問看護ステーション：10施設

R6 医療機関等：1施設、訪問看護ステーション：12施設

【R7 予算：1,563千円】

・ **病院内保育所運営費補助金**

結婚や子育てによる離職防止、再就業の促進を目的とした病院内保育所の設置に要する保育士等人件費や設備整備を支援

(実績) R5 病院内保育所数：73箇所 R6 病院内保育所数：74箇所

薬剤師確保 【R7 予算：2,876千円】

1 **薬剤師確保支援体制の構築**

・ **岐阜県薬剤師確保対策推進協議会**

県医師会、県病院協会、県薬剤師会、県病院薬剤師会、岐阜薬科大学、岐阜医療科学大学及び行政による協議会を設置し、薬剤師の確保に向けた調査・検討を実施

2 **薬剤師確保支援事業**

・ **薬学生合同インターンシップ**

全国の薬学生・薬剤師を対象に、県内の病院での薬剤師業務の実施研修（見学、体験等）を実施

(実績) R6 参加者数：8名 R7 参加者数：16名

・ **合同企業説明会**

全国の薬学生・薬剤師を対象に、県内の病院の業務内容や採用情報を直接聞くことができる合同企業説明会を開催

(実績) R6：ウェブ上にて動画配信・資料掲載により開催 総閲覧回数1,721回

・ **未就業者等対策事業**

子育て等により離職した薬剤師や医療機関での実務経験がない有資格者等を対象に、復職に対する不安の払拭や薬剤師スキルの向上を目的とした研修会を開催
(実績) R6 研修受講者数：19 名

在宅医療

1 市町村が実施する在宅医療・介護連携推進事業の支援

・在宅医療連携推進会議

市町村、関係団体を対象とした在宅医療介護連携推進圏域別研究会の開催（市町村の取組状況等の横展開及び意見交換等を実施） 【R7 予算：350 千円】

・診療報酬情報加工委託料及び在宅医療・介護連携推進事業評価指標分析研修事業

市町村等に課題抽出のための医療・介護資源データを提供するとともに、市町村対象とした課題抽出に資する評価指標分析研修を実施 【R7 予算：501 千円、230 千円】

2 在宅医療・介護を担う人材の育成

・在宅医療人材育成事業費補助金 【～R6】

県医師会が行う在宅医療を実施する医師等の人材育成のための研修会実施に係る経費を支援

(実績) R5 (2 回開催)

参加者 54 名 (医師 12 名、看護師 15 名、介護従事者 5 名、その他 22 名)

R6 (2 回開催)

参加者 113 名 (医師 31 名、看護師 36 名、ケアマネ 11 名、その他 35 名)

・在宅医療推進センター運営事業費補助金 【R7 予算：10,196 千円】

地域の実情に応じた在宅医療の提供体制を構築するため、地域の連携拠点（市町村）や医療機関の支援等を行う在宅医療推進センターの取組を支援

・訪問看護体制充実強化支援事業費補助金 【R7 予算：7,000 千円】

県看護協会が実施する訪問看護に関する相談体制の整備及び訪問看護師の育成・確保に資する事業に対する支援

(実績) R5：相談件数 380 件、研修会 2 回開催 (参加者 27 名)

R6：相談件数 401 件、研修会 2 回開催 (参加者 30 名)

県訪問看護ステーション連絡協議会が実施する訪問看護師と他職種との連携促進に資する事業に対する支援

(実績) R5：研修会 4 回開催 (参加者 257 名)

R6：研修会 5 回開催 (参加者 256 名)

・かかりつけ薬剤師・薬局在宅医療体制整備事業 【R7 予算：1,627 千円】

在宅訪問の経験がない薬剤師が訪問薬剤管理指導を行う薬剤師に同行する研修や、薬局薬剤師を対象とした介護関係者等との連携強化を目的とする研修を実施

(実績) R6：同行研修受講者 8 名

3 在宅医療・介護連携体制の構築

・在宅医療連携強化事業費補助金 【～R6】

【在宅医療連携支援事業】

県医師会が実施する市町村や地域医師会、医療機関からの在宅医療に関する相談支援体制の整備に対する支援

【在宅医療連携強化事業】

在宅医同士の連携や、在宅医と多職種の連携強化を目的とする検討会、勉強会の開催にかかる経費を支援

・在宅医療推進センター運営事業費補助金 【R7 予算：10,196 千円】【再掲】

地域の実情に応じた在宅医療の提供体制を構築するため、地域の連携拠点（市町村）や医療機関の支援等を行う在宅医療推進センターの取組を支援

・在宅療養あんしん病床確保事業費補助金

県医師会が行う在宅療養者の入院調整を行う在宅療養あんしん病床確保事業に係る経費を支援 【R7 予算：2,625 千円】

・退院支援ルール策定事業

圏域又はそれに準じた広域圏における退院支援ルールの策定を支援
（実績）2 医療圏 ※H30、R1 年度

・退院支援担当者研修事業

医療機関や看護施設等で働く看護師や社会福祉士を対象に、退院支援に必要な知識や技術を習得するための研修を実施

4 オンライン診療の推進

・オンライン診療設備整備費補助金

オンライン診療に必要な情報通信機器等の購入に係る経費を支援

（実績）140 医療機関＜R2、R4 年度＞

在宅患者のオンライン診療の補助に必要な情報通信機器等の購入に係る経費を支援

（実績）訪問看護ステーション 16 事業所＜R3、R4 年度＞

・オンライン診療によるへき地医療確保事業

へき地医療拠点病院等とへき地診療所等間のオンライン診療の取組みを支援

（実績）R5：国保白鳥病院 — 国保小那比診療所及び阿多岐集会所

市立恵那病院 — 国保山岡診療所

R6：市立小坂診療所 — 馬瀬診療所

・遠隔医療設備整備事業費補助金 【R7 予算：2,813 千円】

オンライン診療に必要な情報通信機器等の購入に係る経費を支援